

十勝管内6消防本部を統合した管轄面積日本一の「とかち広域消防局」の運

當が1日にスタートした。管内の119番通報を一括して受信する「消防指令セ

ンター」では、同日午前から通信システムの切り替え作業が順次始まり、職員た

## 広域消防局スタート



十勝全域から119番を受ける帯広の指令センター。職員が真剣な表情で業務に当たっている（1日午前10時45分ごろ）

ちは緊張した面持ちで業務に当たっている。

指令センターには、帯広を除く5本部から12人が派遣され、帯広の職員と合わせた24人（2交代制）が勤務。位置情報システムなど

最新の設備により、119番通報を受けると通報者の位置情報が瞬時にモニタ上に表示され、場所の特定や出動指令をこれまでより早く行うことができる。ただ、町村の消防署に直接電話した場合は位置情

報は機能しない。同局は119番での通報に加え、「十勝全域の通報を1カ所で受けたため、必ず場所は市町村名から伝えてほしい」と呼び掛けている。

119番通報の受信切り替え作業は1日に亘り西十勝消防本部の管轄区域（新得、清水、芽室）を皮切りに始まり、7日までの1週間で管内全域で完了する。山本学情報指令課長は「日本一の管轄面積の消防局は全国的にも注目されている。ミスのないよう二重三重で注意しながら対応していく」と話した。（高津祐也）